

土砂災害防止に向けた全国会議を大津市で開催します ～令和8年度(第44回)土砂災害防止「全国の集い」～

令和6年伊吹山での土砂災害を経験した滋賀県で、『近代砂防発祥の地 滋賀からの警鐘』～田上砂防150年の歴史、変わりゆく土砂災害の要因～を開催テーマに、今後の土砂災害に対する取り組みを発信する全国会議を開催しますので、お知らせします。

■日時・会場・主催

日時: 令和8年6月11日(木)13時00分～17時15分(開場12時)
会場: 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール(大ホール)
主催: 国土交通省、滋賀県

■内容

開催式典 1)挨拶: 国土交通大臣、滋賀県知事、大津市長、来賓(国会議員等)
2)土砂災害防止功労者表彰式

その他、詳細なプログラムについては、別添チラシのとおりです

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 河川部

河川計画課長 西 広樹(にし ひろき) (内線3611)

建設専門官 松尾 嘉和(まつお よしかず) (内線3617)

電話06-6945-6355(直通)

滋賀県 県土整備部流域政策局 砂防室

砂防室長 尾崎 康人(おざき やすひと)

室長補佐兼係長 井上 裕司(いのうえ ゆうじ)

電話077-528-4192(内線4195)

みんなで防ごう土砂災害
土砂災害防止月間
6/1→30
かけ崩れ防災週間 6/1▶7



令和6年伊吹山土砂流出状況



第44回
令和8年度

土砂災害防止「全国の集い」

「近代砂防発祥の地 滋賀からの警鐘」 in 滋賀

～田上山砂防150年の歴史、変わりゆく土砂災害の要因～



オランダ堰堤(明治22年完成)



鐘塚堤(明治22年完成)

■土砂災害防止功労者 特別講演

■基調講演

『砂』と暮らした地域の歴史に学ぶ
講演者 渡部 圭一(筑波大学 人文社会系 准教授)

■パネルディスカッション

『近代砂防発祥の地 滋賀からの警鐘』
～田上山砂防150年の歴史、
変わりゆく土砂災害の要因～
コーディネーター 松本 浩司(北海道大学 客員教授、元NHK解説主幹)

令和8年 6月11日 木 13:00~17:15
一般参加 入場無料

会場 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール(大ホール)

主催 国土交通省、滋賀県

問合せ先 第44回土砂災害防止「全国の集い」運営委員会事務局(滋賀県流域政策局砂防室) 電話077-528-4192

【後援】消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、一般社団法人日本新聞協会、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人全国治水砂防協会、一般財団法人砂防地すべり技術センター、一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構、全国地すべりがけ崩れ対策協議会、一般社団法人斜面防災対策技術協会、一般社団法人建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会、NPO法人土砂災害防止広報センター、一般社団法人滋賀県建設業協会、一般社団法人全国特定法面保護協会近畿地方支部、一般社団法人斜面防災対策技術協会関西支部、一般社団法人滋賀県測量設計技術協会、一般社団法人関西地質調査業協会、一般社団法人建設コンサルタント協会近畿支部、一般社団法人滋賀県建設コンサルタント協会、一般社団法人全国治水砂防協会滋賀県支部、滋賀県市長会、滋賀県町村会、滋賀県砂防ボランティア協会、公益財団法人滋賀県消防協会、びわ湖放送株式会社

6月11日(木) 6月11日シンポジウムはCPD-CPDSの認定講習です。
土砂災害防止「全国の集い」

連携行事 (午前中)	令和8年度 滋賀県砂防工事施工技術等連絡会	ピアザ淡海 2階 207会議室
	令和8年度 砂防ボランティア「全国のつどい」	ピアザ淡海 3階 大会議室

※出演者、プログラム名称等は予告なく変更となる場合があります。ご了承下さい。

12:00	<p>■開 場/びわ湖ホール</p> <p>■ポスターセッション 『行政・地域の一押し取組報告』</p>
13:00	<p>■開会式典</p> <p>1) 挨拶:国土交通大臣、滋賀県知事、大津市長、来賓(国会議員等)</p> <p>2) 土砂災害防止功労者表彰式</p>
14:00	<p>■土砂災害防止功労者 特別講演</p>
14:20	<p>■基調講演</p> <p>「砂」と暮らした地域の歴史に学ぶ</p> <p>講演者:渡部 圭一(筑波大学 人文社会系 准教授)</p>
15:00	<p>■ポスターセッション 『行政・地域の一押し取組報告』</p>
15:20	<p>■パネルディスカッション</p> <p>『近代砂防発祥の地 滋賀からの警鐘』</p> <p>～田上山砂防150年の歴史、変わりゆく土砂災害の要因～</p> <p>コーディネーター :松本 浩司(北海道大学 客員教授、元NHK解説主幹)</p> <p>パネリスト(学識者):里深 好文(立命館大学 教授)</p> <p>パネリスト(地 域):古市 秀樹(田上郷土史料館員、元田上山砂防協会副会長)</p> <p>パネリスト(地 域):高橋滝治郎(ユウスゲと貴重植物を守り育てる会 会長)</p> <p>パネリスト(行 政):尾崎 康人(滋賀県 県土整備部 流域政策局 砂防室長)</p> <p>コメンテーター :國友 優(国土交通省 砂防部長)</p>
17:10	<p>■閉会挨拶</p>
17:15	<p>■閉会</p>

【開催主旨】 気候変動による集中豪雨の増加に伴い、日本各地で激甚な土砂災害が頻発し、人的被害が毎年発生するだけでなく、土砂災害の発生要因やリスクが複雑化しています。

滋賀県では、砂防事業に着手してから150年が経過し、近代砂防発祥の地としての歴史を刻んできました。古くは奈良・平安時代からの乱伐等による「人為的な裸地化」は県内各地の山林荒廃を招き、その結果として、長期間にわたる土砂流出が、浸水被害だけでなく天井川の形成など地域の安全や生活基盤に深刻な影響を与えました。また、田上山では、明治時代から試行錯誤を重ね山腹工の技術を確立するとともに堰堤や流路工などの砂防事業が実施され、今もなお地域の安全に寄与しています。

一方、伊吹山では、シカの食害等による植生衰退や「自然現象による裸地化」が起こり、美しい草原が短期間のうちに侵食をうけた地表面に変化し、浸み込まない雨水が地表面を流れることで、令和6年7月には、3度の土砂流出を引き起こし山麓の集落に被害をもたらしました。

これらの土砂災害は、その時代に必要とされた技術が示され、地域の特徴を踏まえた多様な課題への取組として重要なものです。

技術が生まれた歴史的背景と、今後、気候変動に順応して変わっていかねばならない今の我々の立場を踏まえ、持続可能で効果的な対策を共に考え、変わりゆく土砂災害の要因に備える未来の砂防のあり方を発信することを目的に開催するものです。



- ・「JR琵琶湖線 大津駅」より徒歩約20分、
- ・「JR琵琶湖線 膳所駅」より徒歩約15分
- ・「京阪電車 石場駅」より徒歩約3分

※「全国の集い」専用駐車場のご用意はございません。恐れ入りますが公共交通機関等をご利用ください。

6月12日(金) 現地研修会はCPD-CPDSの対象外です。
現地研修会

詳細は参加登録WEBサイトをご確認のうえ、お申込み下さい。
※コース内容は諸事情により変更となる場合があります。

A 半日コース(定員43名) 8:30~12:30	<p>アクア琵琶(大津市)</p> <p>オランダ堰堤(大津市)</p>
B 1日コース(定員38名) 8:30~15:30	<p>百瀬川天井川切り下げ事業地(高島市)</p> <p>伊吹山(米原市)</p>

※A・Bコース共に集合・出発はJR大津駅となります。
Aコースの解散はJR大津駅、Bコースの解散はJR米原駅となります。
※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。



アクア琵琶(大津市)



オランダ堰堤(大津市)



百瀬川天井川切り下げ事業地(高島市)



伊吹山土砂災害対策箇所(米原市)

参加申込要領

■お申込み期限 令和8年5月28日(木)

◎6月11日(木)のメインプログラム(開会式典、シンポジウム)に参加をご希望の方は、下記「滋賀県 Webサイト」からお申込みください。
当日受付もできますが、配布資料の準備等のため、できるだけ事前の申込みをお願いいたします。

滋賀県 Web サイト

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/sabou/348964.html>

滋賀県流域政策局砂防室 で検索下さい。



◎6月11日(木)のシンポジウムはCPD及びCPDSの認定講習となります。事前登録制となっており、当日の参加登録は行いません。必ず事前登録をお願いいたします。

◎6月12日(金)現地研修会は有料プログラムとなります。事前参加申込、事前支払をお願いいたします。詳しくは滋賀県Webサイトでご確認ください。

問合わせ先 第44回土砂災害防止「全国の集い」運営委員会事務局
(滋賀県 流域政策局 砂防室) 電話 077-528-4192